



府六だより

府中市立府中第六小学校

1月号

令和7年1月8日

(児童数 714名)

校長 小林 邦子

一歩一歩成長する令和7年に

校長 小林 邦子

穏やかな年明けとともに、令和7年が始まりました。元気に学校に戻ってきた子供たちの姿から、一人一人よい年にしたいと、思いを新たにしている様子が伝わってきます。3月に竣工を予定している新校舎も、工事関係者の皆様のおかげで着々と工事が進み、いよいよその姿が外からも見られるようになってきました。

今年は「乙巳(きのとみ)の年」。「乙(きのと)」は、しなやかに伸びる草木を指し、「巳(へび)」は、「脱皮」を繰り返し成長することから、「努力や準備が実を結び始める時期」「新しい自分に出会える年」ともいわれています。子供たちには、しなやかさと努力、うまくいかないことがあっても粘り強さを忘れず、自分の殻を脱ぎながら、一歩一歩成長してほしいと思います。

さて、お正月に見たテレビ番組の中で印象に残る言葉がありました。「人生の地図はない。それでも私たちは進んで行くのです。心配はいりません。ゴールが分からなくても次の駅は見えています。…」。

(ドラマ「スロウトレイン」より引用)

スロウトレインというのは、急行列車や特急列車ではない普通列車を指します。この言葉を聞いた時、先のことは誰にも分からないけれど、次の駅を目指すように1月、2月、3月と日々の生活を大切にすることがよりよい未来につながるのだと感じました。焦らず、慌てず、目標を見失った時にはスタート地点に戻ることを恐れず、普通列車から見える景色を楽しみながら。

令和7年は、今年度のまとめと創立70周年を迎える節目の年のスタートとして、三つのことを大切にしたいと思います。

一つは、絆を深めること。仲間とかけがえのない毎日を過ごし、一緒にいると笑顔になり、共に成長し合える学級、学年をみんなの力で創り上げること。

二つは、3月に別れを告げる今の校舎での生活、体育館での活動を丁寧に味わい、記憶や記録に残すこと。

三つは、次の学年に向けて、学習面でも生活面でも準備を整えること。

令和7年も、目指す方向を子供たち、教職員、保護者、地域の皆様と共有しながら、それぞれの思いをみんなで形にしていきたいと思います。たやすいことではありませんが、チーム六小として最善を尽くしてまいります。子供たちの健やかな成長に向けて、引き続きご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

